

平成 2 3 年

高 松 市 教 育 委 員 会 3 月 定 例 会

会 議 録 ( 抄 本 )

3月25日(金)開会

3月25日(金)閉会

出席委員			
委員長	神内 仁		
委員	児玉 令江子		
	木場 巳男		
	藤本 英子		
教育長	松井 等		
欠席委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育部長	富田 繁		
教育部参事 中央図書館長事務取扱	馬場 朋美		
教育部次長 総務課長事務取扱	川田 喜義		
教育部次長 生涯学習課長事務取扱	村上 和広		
学校教育課長	福田 安伸		
保健体育課長	梶野 雅義		
教育研究所長	川上 伸吾		
高松第一高等学校事務長	春日 あけみ		
総務課長補佐	諏訪 真史		
総務課総務係長	高橋 辰雄		
会議録署名委員	木場 巳男		
事務局担当書記	鍵山 哲典		

【特記事項】 傍聴人なし

## 議 事 日 程（3月定例会）

日程第1 2月定例会会議録承認について

日程第2 議案第13号 平成23年度教育行政の重点施策について

日程第3 議案第14号 平成22年度学校医等に対する感謝状贈呈について

日程第4 報告事項

- 1 平成23年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申し出について
- 2 平成23年第1回高松市議会定例会について
- 3 平成23年度「管理の重点，指導の重点」について
- 4 高松市高等学校等入学準備金貸付および高松市奨学生の選考結果について
- 5 乳幼児教育カリキュラム「高松っ子いきいきプラン」について
- 6 地域とともに取り組む「スマイルあいさつ運動」について
- 7 保護者啓発用「情報モラルリーフレット」の作成・配付について
- 8 スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の平成22年度研究成果の報告について

【平成23年3月25日（金） 議 事 内 容】

---

午前9時30分 開会

---

委員長が、会議録の署名委員に木場委員を指名。

日程第1 2月定例会会議録承認について

委員長が、2月定例会会議録承認について各委員に諮り、原案のとおり可決。

---

日程第2 議案第13号

議案第13号 「平成23年度教育行政の重点施策について」

総務課長から、平成23年度教育行政の重点施策の内容について説明。

<質疑>

- 委 員 　　つい先日、東北地方の地震による大災害がありました。学校現場でも、子どもたちへの防災教育が大事であると思われま。
- 学校教育課長 　　防災教育については、今回作成しました「管理の重点、指導の重点」において、学校現場での実践的な安全・防災教育の推進を掲げています。
- 総務課長 　　教育行政の重点施策については、主に予算化されている事業を掲載していますので、学校現場での具体的な教育内容までは記載しておりません。
- 教 育 長 　　学校現場では年間に数回、火災や地震などを想定した非難訓練を実施しております。ただ、今回の東北地方太平洋沖地震は想定外の規模であったこともあり、これを教訓として、防災教育や避難訓練をより充実したものにする必要があると思ひます。

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

---

日程第3 議案第14号

議案第14号 「平成22年度学校医等に対する感謝状贈呈について」

保健体育課長から、多年にわたり職務に精励し、本市学校保健の推進に寄与された方々に感謝状を贈呈することについて説明。

<質疑>

(発言する者なし)

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

---

日程第4 報告事項

報告事項1 「平成23年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申し出について」

総務課長から、市長より意見聴取のあった平成23年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見について、教育長の代決により「意見は特になし」旨で回答したことについて報告。

<質疑>

- 委員 耐震化工事等の減額補正は、どのような理由によるものでしょうか。
  - 総務課長 予算確保以後の工法の見直しにより、当初の予定金額より安価に施工ができたことによるものです。
  - 委員長 今回の補正額は例年に比べていかがでしょうか。
  - 総務課長 毎年、様々な内容の補正が行われているため、一概に比較はできませんが、今年度の補正額が特に突出しているということはありません。
-

## 報告事項2 「平成23年第1回高松市議会定例会について」

教育部長から、平成23年第1回高松市議会定例会について説明。

### <質疑>

- 委 員 「ぴかぴかデー」については、全ての幼稚園、小・中学校で実施するのでしょうか。
- 教 育 長 今年度の途中から、幼稚園を対象に掃除教育として開始した事業で、来年度は、さらに小・中学校にも拡大する予定です。地域の方々と掃除の仕方を学ぶことを通して、心を育む教育につなげたいと考えています。
- 委 員 コミュニティスクールを想定した、高松型の学校サポート体制について説明してください。
- 教 育 長 答弁でも申しあげておりますが、地域の方々と連携した学校づくりは、今後、教育のあるべき方向性であると考えます。新番丁小学校サポート協議会の活動を1つの模範的なモデルとして、他の学校にも紹介していきたいと思えます。

---

## 報告事項3 「平成23年度『管理の重点、指導の重点』について」

学校教育課長から、平成23年度版「管理の重点、指導の重点」について報告

### <質疑>

- 教 育 長 高松市は学校数が多いこともあり、幼稚園、小・中学校が一斉に、同一事業に取り組むことが難しいところがありますが、今後は、あいさつ運動、掃除教育や生徒指導対応など、各学校の実情に合わせながらも、できるだけ一斉に実施していくとともに、地域の方々にも取り組み内容をアピールし、広く周知していきたいと思えます。
- 委 員 あいさつを習慣づけることは心の教育にとって非常に大事であり、学校だけのあいさつ運動だけでなく、家庭での教育も必要になってくると思えます。

- 教育長 この「管理の重点、指導の重点」については、学校教育に関することが主体ですので、家庭教育については、たとえば就学前の健康診断など、保護者が多数集まる機会をとらえて指導していくのが望ましいかと考えています。
  - 委員 講師として就学前健康診断に出席した機会には、多数の保護者を前にしたこの場で、指導したほうがよいと感じたことがよくありました。
  - 教育部長 通勤途上などで、こちらから子どもたちに挨拶すると、次回からは自らすすんで挨拶してくれることがあり、大人がきちんと挨拶の見本を教えると、子どもは学んでいくものだと感じました。また、その子どもの姿が、逆に家庭にも波及してほしいと思います。
  - 委員長 マナーというのは、目に見えないすばらしい資源であると感じます。
- 

報告事項4 「高松市高等学校等入学準備金貸付および高松市奨学生の選考結果について」

学校教育課長から、高松市高等学校等入学準備金貸付および高松市奨学生の選考結果について報告。

<質疑>

- 委員 奨学金の額が月額9,000円とありますが、かなり前から変更されていないと思われしますので、現状にあった見直しを検討していただければと思います。
  - 学校教育課長 しばらく据え置きになっている月額設定ですが、現在の中学校の就学援助金を月額にした場合とほぼ同額の設定ではあります。
  - 教育部長 以前は予算総額が決まっていたため、奨学生の選出に限りがありましたが、事業仕分けの結果を受け、新たな基準を設けるとともに、予算枠も拡大しております。
-

報告事項5 「乳幼児教育カリキュラム『高松っ子いきいきプラン』について」

学校教育課長から、平成23年度より市内幼稚園、保育所、小学校で試行実施する「高松っ子いきいきプラン」の内容について説明。

<質疑>

- 委員 配布したのが幼稚園、小・中学校の学校現場だけとのことですが、内容の仕上がりがとても素晴らしいと感じました。できれば保護者にも配布し、家庭教育の指導資料としても十分に活用してほしいと思います。
  - 学校教育課長 広く周知できるように検討していきたいと思います。
- 

報告事項6 「地域とともに取り組む『スマイルあいさつ運動』について」

学校教育課長から、幼児児童生徒と保護者、地域住民が共に取り組む「スマイルあいさつ運動」について説明。

<質疑>

- 委員 あいさつ運動についてですが、記載内容には「自分からあいさつ」という趣旨を追加していただければと思います。
- 

報告事項7 「保護者啓発用『情報モラルリーフレット』の作成・配付について」

教育研究所長から、昨年末の「子どもの携帯電話等の利用に関する調査結果」を踏まえた保護者啓発用「情報モラルリーフレット」の作成・配付について説明。

<質疑>



- 委員 保護者にぜひ知ってほしい内容ですので、子どもを介してではなく、直接配布していただきたいと思います。
- 教育研究所長 この3月で卒業する中学3年生に限り、時間的に直接渡す機会がないため、生徒本人に配布しましたが、新年度からの配布については、保護者の集まる機会に直接配布するよう各学校長に依頼しております。

---

報告事項8 「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の平成22年度研究成果の報告について」

高松第一高等学校事務長から、国の指定を受けて取り組んでいるスーパー・サイエンス・ハイスクール事業の平成22年度研究成果について報告。

<質疑>

- 委員 このSSHの取り組み内容や合宿により、将来の目標や進路を決める契機になった生徒も多数いるようです。この特別理科コース生徒の男女比やSSHの予算はどうなっていますか。
- 高松第一高等学校事務長 ここ近年は女子生徒が増えつつあります。また予算については、当初5年間で6,600万円の国からの補助が予定されていましたが、今年度分については多少の減額が予定されています。
- 委員長 講演会等の講師はどのような人選をされていますか。
- 高松第一高等学校事務長 一高教員の人脈を頼りに依頼したり、講師から次の方の紹介を受けたりして決定しています。

---

午前11時34分 閉会

---

## 議決事項

「平成23年度教育行政の重点施策について」

「平成22年度学校医等に対する感謝状贈呈について」